



# あま市都市計画マスタープラン及び緑の基本計画

第1回ニュースレター 令和3年3月

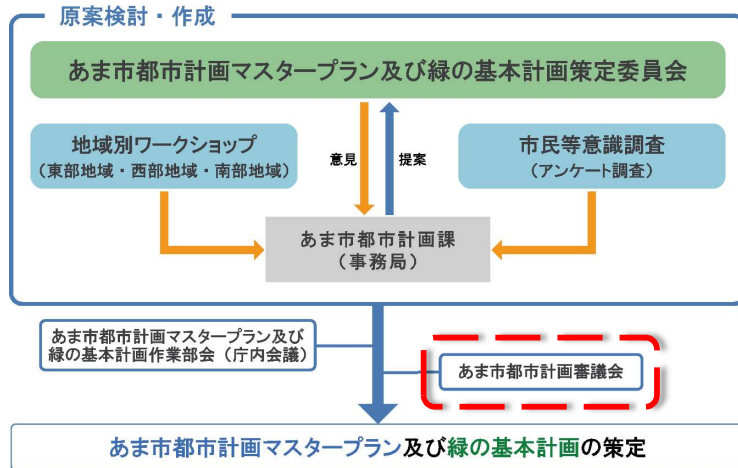
## あま市都市計画マスタープラン及び緑の基本計画の策定に向けた検討をはじめました！

あま市では、都市計画マスタープラン及び緑の基本計画の策定に向け、今後のあま市の都市づくり・緑づくりの検討をはじめました。

令和3（2021）年度末までの策定を目指し、市民や地元関係団体等から構成される「あま市都市計画マスタープラン及び緑の基本計画策定委員会」で検討を進めるとともに、市民の皆様にも参加いただける地域別ワークショップ\*や市民等意識調査を通して、みなさまの意見を十分に反映しつつ、検討します。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、現在、開催方法について検討しています。

### ■策定体制



### ■策定スケジュール

	令和2（2020）年度			令和3（2021）年度		
都市計画マスタープラン	現況分析	課題整理	全体構想 ・将来都市像 ・土地利用の方針	地域別構想	実現方法の検討	公表
	現行計画の達成度評価					
緑の基本計画	現況分析	課題整理	将来像の設定	施策の検討	実現方法の検討	公表
その他	アンケート調査 (調査期間：9/17～30)			地域別ワークショップ	パブリックコメント	
各種会議	策定委員会：10/2(金)、12/25(金)、3/3(水) 作業部会：8/26(水)、11/18(水)、2/18(木)			都市計画審議会：1回開催予定 策定委員会：3回開催予定 作業部会：3回開催予定		

## あま市都市計画マスタープランの策定に向けて

### 策定の背景と目的

- ・平成24（2012）年度に都市計画マスタープランを策定し、まもなく目標年次である令和3（2021）年度を迎えます。
- ・計画策定当時と比べ、人口減少・超高齢社会の進展、道路などの都市基盤の老朽化とそれに伴う維持管理費の増大、大規模自然災害に対する防災・減災意識の高まりなど、社会情勢が大きく変化しています。



⇒これからの時代に即した都市の将来像や都市づくりの方針、土地利用の方針を定めます。

### これからの都市づくり

- ・人口減少社会において居住地や来訪先として「選ばれる都市」を目指し、市民・事業者（各種団体含む）・行政の協働により暮らしやすさや魅力を高める取組みを一層推進します。

⇒【都市の将来像】

### “あまチカラ”により暮らしやすさや魅力を高める都市づくり

※「あまチカラ」とは、“まちのチカラ”と“ひとのチカラ”の融合を表した造語です。

この2つの“チカラ”の相互作用によって暮らしやすさや魅力を高め、「住みたくなる」「訪れたいくなる」都市づくりを進めることを都市の将来像として設定しました。

#### まちのチカラ

- ・水と緑に囲まれた良好な住環境
- ・利便性の高い交通アクセス
- ・歴史・文化資源

#### ひとのチカラ

- ・市民・事業者・行政の連携・協働
- ・社会資本の適正な維持管理

あまチカラ

### ★策定委員会でこんな意見が出ました！



住民の防災意識が低く、大規模災害が発生した際に、適切な避難行動がとれるか不安に感じています。ソフト的な取組みも含めて、防災に関する内容を充実させてほしいです。



あま市の観光として、イベントや文化財などの観光資源だけでなく、ソフト的な活動についても取り扱ってほしいです。観光協会が平成25（2013）年に設立され、さまざまな活動が展開されています。



文化資源として七宝焼が取り上げられていますが、全盛期と比べ窯元は激減しています。今後も存続させていくためには、何かしらの対策を講じる必要があると思います。



新庁舎の建設が進んでいますが、その周辺に多目的グラウンドなどの交流施設を整備するなどして、より魅力的な施設になれば良いと思います。

## あま市緑の基本計画の策定に向けて

### 策定の背景と目的

- ・ 現行計画に基づき、都市公園や街路樹の整備・管理など、緑の都市づくりを推進してきました。
  - ・ 計画策定から約 25 年が経過し、人口減少・超高齢社会の進展、公園施設に関する維持管理費の増大、大規模自然災害に対する防災・減災意識の高まりなど、社会情勢が大きく変化しています。
- ⇒社会経済情勢などの変化に柔軟に対応した緑の都市づくりを推進します。

### 緑に関する課題

- 1) 河川を軸とした自然・生態系ネットワークの形成を図ります。
- 2) 自然環境が有する多様な機能を活用し、ソフト・ハードの両面から総合的な災害対策を推進します。
- 3) 地域の歴史・文化的資源を保全・活用し、都市の景観形成や地域活性化を図ります。
- 4) 地域の特性に応じた公園・緑地の整備・充実を図ります。
- 5) 今後は、住んでみたい・住み続けたいと思われる都市づくりが必要であり、**まちの活力を維持・向上に寄与する魅力的な緑とオープンスペースの形成**を図ります。
- 6) **市民や事業者との連携・協働の仕組み**をつくり、緑の都市づくりを推進します。

### これからの緑の都市づくり

#### 【あま市が目指す緑の姿】

#### 歴史と文化をささえ 地域と人をいかに 水と緑の都市づくり

#### 【緑の基本方針】

- 1) 水と緑をまもり、災害に強い緑の都市づくり
- 2) 歴史と文化をささえる緑の都市づくり
- 3) 地域と人をいかに持続可能な緑の都市づくり

#### 【市内にある主な公園・緑地】



都市公園：二ツ寺親水公園



河川：小切戸川



社寺林：蓮華寺

### ★策定委員会でこんな意見が出ました！



計画で扱う緑として、公園や緑地、社寺林などの緑だけではなく、花壇などの「市民がつくる緑」や「壁面緑化や屋上緑化などでつくった緑」についても触れてほしいです。



今後の農地の活用方法について検討してほしいです。

## みなさまの意見を取り入れるためアンケートを実施しました

あま市の都市づくり・緑づくりについてみなさまの思いをお伺いし、計画策定の参考にさせていただくため、アンケート調査を実施しました。多くの方にご協力いただき、ありがとうございます。

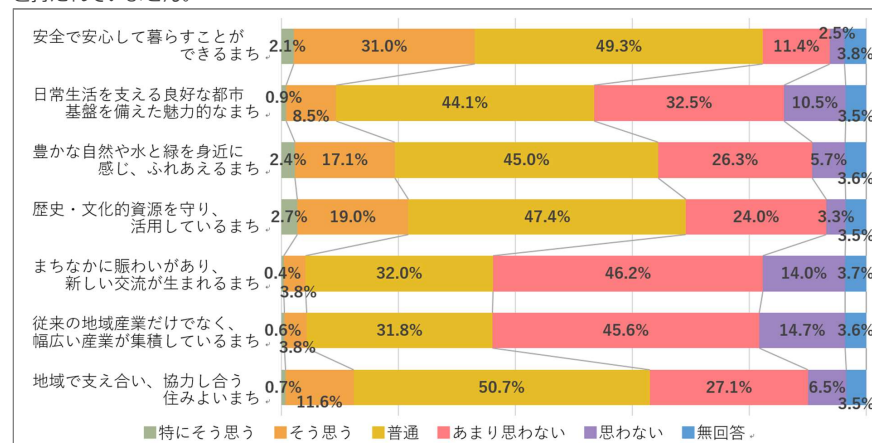
### ■ 調査概要

調査期間	令和2（2020）年9月17日(木)～9月30日(水)
調査方法	郵送配布・回収
調査対象	満18歳以上の市民3,000名（住民基本台帳より無作為抽出）
回収数/回収率	1,377通/45.9%

■ 調査結果の一部（アンケート結果は、あま市公式ウェブサイトでお知らせいたします。）

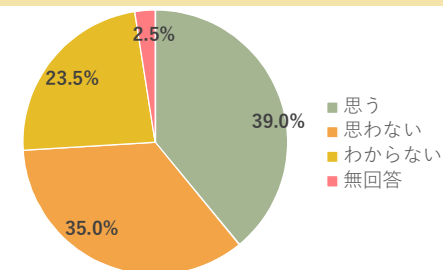
### Q. 現在のあま市について、どんなイメージをお持ちですか？

・ 回答者が思うあま市のイメージとしては、「安全で安心して暮らすことができるまち」や「歴史・文化的資源を守り、活用しているまち」というイメージがあるものの、「まちなかに賑わいがあり、新しい交流が生まれるまち」や「従来の地域産業だけでなく、幅広い産業が集積しているまち」というイメージはほとんど持たれていません。



### Q. あま市は「緑豊かなまち」だと思いますか？

・ 「緑豊かなまち」だと思う人・思わない人はどちらも約40%程度となっています。



発行：あま市役所 建設産業部 都市計画課

Tel：(052)441-7112/FAX：(052)441-8387/E-mail：toshi@city.ama.lg.jp

※詳しくはあま市公式ウェブサイトもご覧ください。(https://www.city.ama.aichi.jp/)